

平成24年2月1日発行

会員各位

協会だよりー230(2月号)

JCRA(Japan Catalyst Recovering Association)

触媒資源化協会

<トピックス>

- 第212回月例会(講演会・新年会)
日 時：平成24年2月7日(火)15:00～19:00
場 所：如水会館・ペガサス及び桜の間にて
- 2011年度の資源化実績報告を未提出の会員は早めに。
- 第25回JSCRA会(協会ゴルフコンペ) 16名定員に達しました。
日 時：平成24年3月9日(金)8:28より4組
場 所：中山カントリークラブ(千葉県八千代市)



- 一. 協会よりのお知らせ
【実施済事項】
【予定事項】
- 二. 経産省よりの連絡
- 三. ANA機体整備センター見学記
- 四. 事務局より(二年度の予定)
- 五. 【雑学】奥の細道・バスツアー(第四―二回)

1. 協会よりのお知らせ

【実施済事項】

- ① **協会だよりー229(1月号)** をメール&郵便で送信(1/6)
- ② 臨時月例会(見学会)
日 時：1月16日(月)15時00分～16時30分
見学先：ANA機体メンテナンスセンター(羽田)
参加者：35名

③ 第六回運営委員会

日 時 : 平成24年1月26日(木)15:30~17:00
場 所 : 堺化学工業株式会社会議室
出 席 : 11名(運営委員、第212回月例会幹事)
議 題 : 第212回月例会の運営準備と打合せ
平成24年度の月例会予備検討その他

【予定事項】

① 第212回月例会(講演会・新年会)

日 時 : 平成24年2月7日(火)15:00~19:00
場 所 : 如水会館・ペガサス及び桜の間にて

② 第二回調査・技術委員会

日 時 : 平成24年2月(未定)15:00~17:00
場 所 : 日興リカ株会議室
出 席 : 委員会委員長及び各部会長、事務局

2. 経産省よりの連絡

- ①【機1】経済センサスー活動調査に係る周知・協力のお願い(経済産業省化学課)(1/16)
- ②【至急】改正水質汚濁防止法全国説明会の開催及び参加募集について(1/20)
- ③【機2】省エネ法改正に係る説明会の御案内(1/24(火)10:00-11:00)【登録締切本日(1/23(月)15:00】(1/23)
- ④【開催案内、登録1/24(火)12:00目途】二本松市マンションの放射線問題に関する類似事例調査に係る業界説明会(1/24(火)17時~)(1/23)
- ⑤【御連絡】改正水濁法(地下水汚染未然防止措置)に関する事業者向け説明会(追加連絡)(1/24)
- ⑥【機1】中小企業無料弁護士相談会のお知らせ(経済産業省化学課)(1/25)

3. ANA機体整備センター見学記

2012年が明けてまだ間もない1月16日の午後、今回私は触媒資源化協会の月例会に初めて参加させて頂きました。今回の月例会はANA機体整備工場の見学でしたが、予約は半年待ちという人気のツアーということもあり、初参加ながら若干ミーハーな気分で見学へ赴きました。集合場所の「新整備場駅」はその名の通り、整備場のための駅で、構内を抜けると無機質な印象を受けるくらい、シンプルな施設やビルの立ち並ぶ静かな所です。

飛行場関係の色々な建物を横目に、駅から10分ほど歩くとANAの整備場に到着です。ロビー兼待合ルームに入ると受付の電光掲示板に、当日の見学者の名前が映し出されていたのですが、一般の方々の名前の中に混じって一瞬でしたが「触媒資源化協会御一行」(←確か)の文字もしっかり出てきました。見学のしおりと首から下げる見学パスを渡され、間もなくして説明会場へ。まずはその会場で40分ほど整備場での作業内容の説明が行われました。スクリーン映像やクイズを交えつつ、盛り上げ上手なANAの女性スタッフさんのMCで皆さん楽しまれたのではないのでしょうか。クイズでは飛



行機グッズを賞品として頂き、記念になりました。

説明会で特に興味を引きつけていたのは、今話題の最新型のボーイング 787 ではないでしょうか。たまたま最新の第 4 号機が当日そのメンテナンスセンターにペインティングを行うため格納されていると聞き、テンションが上がりました。ボーイング 787 を作るに当たって日本企業の協力が多くあったことは有名ですが、世界で日々進化を遂げ

ている技術開発に日本が貢献していることを実感するのはやはり感慨深いものがありました。ボディー部分に使われている素材が以前はアルミ合金が主だったのに対して、ボーイング 787 には東レの炭素繊維という素材を多く用いているそうです。開場に展示されていた 50-70cm 角ぐらいの実際のボディー片を触ってみることができました。素人目には同じような飛行機に見えていたのですが、アルミ合金のものと炭素繊維のものでは重量も、厚さも、形状も、同じ強度を保つのに原材料が違ふとこんなに変化するのでなと感心した次第です。

説明会が終わり、いよいよ格納庫へ向かいます。格納庫には暖房器具が見当たらず、この日一日案内をして頂いた女性スタッフさんによると気温は今シーズン一番の冷え込みとのこと。しかし我々一同は始終和気あいあいとした雰囲気で見学を回りました。最大 7 機まで収納できるという広くて天井の高い格納庫、最初の説明にあった通り現場は隅々まで、安全は勿論のこと、整理整頓ということが徹底されているのを肌で感じました。人の命を預かり、かつ過酷な状況に対応する飛行機を整備する現場ですから、その緊張感にこちらも身を研ぎ澄まされる思いでした。初めに第一格納庫で B757, 767 の見学、エンジンの交換中でした。飛行機の翼の付け根あたりに付いているエンジンは結構頻りに交換がなされているようでした。3 万点の部品でできたエンジンをすべて分解するそうです。次に見学した第二格納庫で、B777-300、そして B787 を見る事ができました。787 というペインティングが大きく機体に施されているのは 3 号機からだそうで、当日見た B787 の 4 号機はそのペインティング中でした。



今回のこの機体メンテナンスセンターでは実際の飛行機の整備の見学だけではなく、多くの技術や多くの人に支えられて1つの飛行機が飛んでいるのだと実感した貴重な体験となりました。また、整備工場では安全面の整備だけではなく、快適さや、飛行機の用途に合わせて中をリフォームや改造したりしているということもこの日初めて知りました。これからますます有難みをもってフライトを楽しみたいと思います。

最後になりましたが、触媒資源化協会 小林専務理事を始め、開催に当たりご尽力いただいた関係者の方々には深くお礼申し上げます。ありがとうございました。



記：株式会社光正 営業部 竹下裕子

4. 事務局より（2月度の予定）

曜日	月	火	水	木	金	土
1週	1/30	1/31	1	2	3	4
	×	○	○	×	○	×
2週	6	7	8	9	10	11
	○	第212回 月例会	×	×	○	×
3週	13	14	15	16	17	18
	×	○	×	×	○	×
4週	20	21	22	23	24	25
	×	○	×	×	○	×
5週	27	28	29	3/1	3/2	3/3
	×	○	×	×	○	×

事務局延べ出勤予定：10日（○；終日、△；半日、×は休日）。

5. 【雑学】奥の細道・バスツアー（第四一二回）

今回は那須湯本温泉に一泊した後、朝から雨の中、側にある温泉神社に向かいました。温泉神社のいわれは奈良時代、狩ノ三郎行広が白鹿に矢傷を負わせたのに逃げられ、白鹿が湯浴みをして傷を癒していた鹿の湯（温泉）を発見し、白鹿を射止め慰霊のため神社を建立したといわれています。また那須与一が義経の平氏追討の軍に従うときお参りし、文治元年(1185)屋島での名声を上げ帰郷して奉納したものが神社の宝物として伝わっています。



湯を結ぶ誓いもおなじ岩清水

《殺生石》

続いて近くの殺生石へ。黒羽の玉藻稲荷神社で退治された九尾の狐が毒石となり、その一部がここ那須湯本に飛んできたといわれています。高久の角左衛門家で二泊した芭蕉さんは馬で那須の殺生石に向かいます。

～野を横に馬牽むけよほとゝぎす～殺生石
 はいで湯のいずる山陰にあり。石の毒気いまだほろびず蜂・蝶のたぐい、真砂の色の見えぬほど、重なり死す。と奥の細道にあり、発生する硫化水素が動物、昆虫を殺傷したのでしょうか。未だに硫黄の匂いが漂っています。また芭蕉さんは温泉神社にも立ち寄り那須与一の的を射たときの矢などを見学しています。



ここ殺生石は街道の途中ではなく、芭蕉さんも特に寄り道したものと思われます。我々のバスもここより奥州街道の那須町芦野の遊行柳に向かいます。

《遊行柳》

遊行柳は芭蕉さんの私淑する西行の歌「道の辺に清水流る 柳かげ しばしとてこそ立ちどまりけれ」の歌枕の地です。西行は実際にここを訪れていませんが、西行の後を追う芭蕉さんにとって訪ねたい場所でした。



田一枝植て立去る柳かな

駐車場より田んぼ道を歩き、鎮守の森の鳥居の脇に遊行柳があります。田植えの時期であれば緑豊かな景色と思われるのですが、12月では土一色で、早苗の時期の緑を思い浮かべて見学しました。お昼は創業300年（江戸時代）という丁子屋でうな重をいただきました。



バスのツアーは4回にわけ出立の深川から千住、草加、室の八島、鹿沼、日光、裏見の滝、黒羽、殺生石、遊行柳と訪ねてきました。関東は終わり次回より、いよいよ白河の関を越え奥州に入ります。どこまでツアーに参加できるか、がんばって見ます。

【文責・専務理事】